本年も大変お世話になりました
来る年もみなさまにとって
幸多き一年で
ありますように

徳之島虹の会事務局
2018 年 12 月発行
第 17･18 号

《 2018 年７～８月の活動報告 》

7/6～8　ノネコシンポジウム
7/17　新聞社、県ガイド担当者対応
7/20　いのちつながる徳之島写真展 終了片づけ
7/22　面縄中生徒 自由研究
7/25　野生生物の交通事故防止キャンペーン
7/26～8/26　東京大学ネコトキソ研究調査受け入れ
　山クビリ線利用会議
7/27、8/2・5・6・12
　面縄中生徒 自由研究・生き物観察会
8/1～10　奄美ネコ問題 著書執筆
8/7　ほーらい館児童クラブ 山の生き物観察会
8/8～10　犬田布中 教職員ステップアップ研修
8/9　ほーらい館児童クラブ 海の生き物観察会
8/10　鹿児島県知事との車座座談会
　面縄中、井之川中学校生徒 自由研究まとめ
8/12　義名山の森植樹工事現地調査
8/15～22　鹿児島大学研究チーム受け入れ
8/16　松原登山道公園計画調査同行
8/19　森の危険生物研修(鹿大 鵜川先生)
8/21　ＵＩＯターン支援会議
　エコツアーガイド連絡協議会 臨時総会
8/23　島ネコの食性研究発表会
8/25　平成 30 年度ガイド研修開講式
　第１回研修 川の生き物観察会
　面縄中生徒 自由研究成果発表会
8/28　エコツアーガイド連絡協議会臨時総会
8/30　奄美地域振興 地域懇談会
8/31　世界自然遺産候補地地域連絡会議 地域部会

第１回　開校式・『川の生き物観察会』

本事業の開校式、環境省による世界自然遺産のレクチャーに続いて、山本智子先生の川の生き物講座スタート！山、川、海へと続く自然界の物質循環の話を聴き、秋利神川、三京川にて生き物観察の仕方、カニ類、貝類、魚類等の生き物の名前や生態について学びました。

キバラヨシノボリ

第２回『岩石・地質』

岩石大好きな大木公彦先生を迎え、座学で岩石や鉱物、風化作用などについて学び、野外研修へ。ムシロ瀬の成り立ちや黒畦の奇岩、南原のメランジなどについて説明を受けました。遥か１億年前の徳之島に思いを馳せたひととき…学びを深めることで、ガイドの幅も広がり、引き出しも深まりそうな気がしました。

第４回『シダ植物』

どれもよく似たシダ植物ですが、胞子の付き方や葉のつき方などから見分けられることを知りました。講師の田畑満大先生は、舌を噛みそうな名前もすらすらと出て、お歳を感じさせない軽快な歩きで、研修生一同感動しっぱなしでした。

第５・６回　『奄美・西表上級ガイド』

上級ガイドの方が多数活躍している奄美大島と西表島からそれぞれ永江直志さん・徳岡春美さんをお招きして、ガイドの実技研修や意見交換会を行いました。永江さんからは参加者への細やかな気配り、案内する場所(自然、集落)や人に配慮してガイドすることの大切さ等を学び、徳岡さんには西表島での取り組みや課題から見えてくる徳之島のガイドの在り方や今後の取組みについてご助言いただきました。誰でもすぐに取り入れられる知識と意識が盛りだくさんで、大変有意義な研修でした。

H30 年度
エコツアーガイド研修
腕磨きまくっています！

昨年度に続き、よりブラッシュアップするべく８月から分野ごとに専門家を招いて座学・野外研修を積み重ねています。今年度は新メンバーも多くご参加いただき、研修もますます活発化しています。各種講座を一通り終え、現在パンフレットを作成中です。今年度の取組みをダイジェストでご紹介いたします。

エコツアー新コース検討会

各集落の見どころを探し、それをエコツアーの新しいコースとするための検討会を実施しました。また、今回の研修成果をもとに徳之島のエコツアーコースやガイド情報満載のパンフレットを作成しています。来年２月には完成予定です。どうぞお楽しみに！

第３回『徳之島の成立ち・動植物』

講師は島々の成立ちから動植物まで、奄美の自然にとても詳しい服部正策先生。島ごとに異なる動植物の固有性や島特有のハブ毒等について学びました。
野外研修では、なかなかお目にかかれない徳之島・沖縄本島固有のハイに遭遇。幅広く知識を持つことで広がるガイドの可能性も実感できました。

ハイ

新規ご入会

香西 建太朗	様	（徳之島町）
盛 賢史	様	（伊 仙 町）
政 洋充	様	（大 阪 市）
常枝 秀市	様	（徳之島町）
富田 博法	様	（大 阪 市）
木下 浩	様	（徳之島町）

11 月 30 日
現在の会員数
８２名

ご寄付ありがとうございました

中下 留美子	様	（茨城県）
谷川 靖夫	様	（鹿児島市）
小 村	様	（鹿児島市）

虹のつぶやき

Vol.16　『　何をどう伝えるか　』

　コラムを考えてくれと頼まれた。
一晩かけて、私が見ている物事から学べる気付きを文字に起こした。だがそれをコラム欄に載せる事は叶わなかった。理由は文字が多すぎたからだ。だから私は内容を変えた。高々400 文字程度の文章に、私が伝えたい内容は載せることは出来ず、かえってチープなものになってしまうからだ。思うところ、これは一つの現代病でもあるようにも感じる。少ない文字で本当に伝えたいことが伝わるわけがない。

By：釣りバカ五平

少ない会話で伝わるわけがない。しかし逆に長いと人は興味を失うとも言う。なんたることだろう。こうして人は人とのコミュニケーションを簡素なものにし、伝えたいこと、伝えるべきことも伝わらないままそれを良しとする。
　こちらの思いが意図しない方向に向かうのは、ガイド然り、保全活動然りでよくあることだが、保全活動も見聞を広める事も、まずは互いに歩み寄り分かりあう必要があると思う。それが本当の普及啓発につながると考えてやまない。

NPO 法人 徳之島虹の会
Tel＆Fax：0997-86-3575
Mail：shimaniji@gmail.com

今年も島っ子たちが大活躍！

毎年、子どもたちとの交流を大切にしている虹の会ですが、今年の夏もたくさんの島っ子たちと森や海に出かけて自然観察会や勉強会を実施しました。どのイベントも初体験の子が多く、目をキラキラと輝かせながら生き物を観察したり、真剣な表情で意見を出し合ったりする姿が印象的でした。そんな子どもたちの様子をちょっぴりご紹介します！

7／27～

●面縄中学生らと自由研究

今年は面縄中学校のテニス部に所属する生徒たちと、夏休みの自由研究をしました。

「世界自然遺産」を大きな柱に、各自でテーマを決め、森に足を運び生き物を観察しました。最初は手探りだった生徒たちも、回を重ねるごとに顔つきが変わって積極的になり、見ていてとても頼もしかったです。そして、最後まで諦めることなく取り組んだ自由研究は、県の審査まで上がり入選を果たしました。

8／7

●児童クラブ「山の生きもの観察会」

アマミノクロウサギの研究をされている鹿児島大学の鈴木真理子先生を講師に招き、伊仙町の児童クラブの小学１～３年生とスタッフ、ガイド研修生など約 30 名で、山クビリ林道に出向き、森の生き物観察会をしました。

アマミノクロウサギの体の特徴や食べ物、暮らしなどを学んでから林道でフンや食痕を探しました。林道ではトカゲや昆虫、希少植物、ウサギの巣穴などを見つけ、子どもたちも大興奮！観察会の後には、ノネコ問題についても学びました。

8／9

●児童クラブ「海の生き物観察会」

森の生き物観察に引き続き、海の生き物観察会を実施しました。ノネコの研究で来島中の、東京大学大学院生の風戸一亮さんから、磯で見られる生き物についての説明を受け、生き物を観察しました。

子どもたちはゴツゴツとした岩場などもろともせず、岩の隙間隠れている生き物を次々と発見。中には魚を捕まえる強者もおり、わくわくいっぱいの観察会になりました。ふりかえりタイムでは、観察した生き物について絵日記にまとめました。

9／28

●鹿浦小学校１日遠足

鹿浦小学校学校からの要望で、世界自然遺産について学ぶ出前授業＋三京集落あるきを計画しました。

出前授業では世界自然遺産とは何か、なぜ徳之島が推薦されたのかなどを学び、推薦が見送られた理由や島の課題、私たち一人一人ができることを考え意見を出し合いました。

三京まちあるきでは、豊村副理事長の案内で茶畑や三京坊主など集落のスポットを散策。昼食は三京分校の児童と一緒に給食を食べ、交流を深めました。

隣町の集落に出向きその集落について知ることは、子どもたちにとってとても新鮮で、好奇心をくすぐる体験になったようです。

11/13

●犬田布中学校１日体験学習

犬田布中学校からの依頼を受け、１～３年生の生徒５人と島の自然環境について学びましました。各自、世界自然遺産やゴミ問題、動植物などのテーマを決めて参加しており、午前中は世界自然遺産の話や島が抱える課題などを一緒に考え意見を出し合いました。

それぞれのテーマに沿った課題が見えてきたところで、午後は実際にフィールドへ。校区内の集落で不法投棄ゴミを見つけたり、学校近くにある明眼の森で希少な植物を観察したりし、森のすぐ側に外来種が繁殖しているのも確認しました。生徒たちは、自分たちの住む地域にある森が世界的にも貴重で、自分たちの手で大切に守っていく必要があると強く感じたようです。

今夏、延期になった世界自然遺産登録は、来年再推薦されることが決定しました。

登録に向けた活動がますます活発になっていく中、虹の会が特に大切にしている「島人や子どもたちへ守り伝える活動」も、より一層力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

《 2018 年９～11 月の活動報告》

9／1　第２回ガイド研修 岩石＋まちあるき
9／8　環境教育・自然体験 指導者研修
9／9　ガイド研修 川の生き物観察
9／18～10／2　東京大学研究調査受け入れ
9／23　東京大学、森林総研対応
　　三井製糖(株) 対応
9／24　第３回ガイド研修 島の成り立ちとハブ
9／28　鹿浦小学校 １日遠足
9／30　日本地域開発センター
10／2～7　森林総研着生ラン調査
10／3～21　東京大学研究調査受け入れ
10/10　上級救命講習 受講
10/13　環境教育・自然体験指導者研修
10/16　中間監査
10/19　新ツアー商品開発
10/20　第４回ガイド研修 シダ植物
10/23　環境省国立公園管理計画策定会議
10/27・28　着生ラン調査
11/7　喜念集落 まちあるき素材調査
11/10・11　クロウサギ交通事故防止キャンペーン
11/11　喜念集落 聞き取り調査
11/12　第５回ガイド研修 集落の草花
11/13　犬田布中学校 一日体験学習
11/13～18　奄美・琉球 観光交流連携体制構築事業
　　徳之島→奄美大島→屋久島
11/14　徳之島警察署 職員研修
11/15　鹿児島大学ネコ問題討論会
11/17　外来種駆除ボランティア
11/18　第６回ガイド研修 奄美のエコツーリズム
11/21　喜念集落 まちあるき素材調査
11/23　第７回ガイド研修 西表島のエコツーリズム
11/26～12/1　奄美・琉球観光交流連携体制構築事業
　　西表島→やんばる
11/27　電柱管理草刈り現場希少種調査立ち合い
11/28　プロナツ事業報告会（東京）
11/29　希少植物移植作業

賛助会員募集中！

現在、虹の会では当会の趣旨に賛同し、応援してくださる賛助会員（サポーター）を募集しています。「虹の会の活動に参加してみたい」、「活動には参加できないけど応援したい」という方のご入会をお待ちしています。

会費は、１家族（同一世帯）年間５，０００円です。

皆様からお納めいただいた年会費は、当会の活動費や運営費として活用させていただきます。

入会をご希望の方は別紙の申込書にご記入の上、徳之島虹の会事局へメール・FAX にてお申し込みください。お問い合わせは、下記までお願いいたします。

ＮＰＯ法人徳之島虹の会　事務局
TEL/FAX：0997-86-3575
Mail：shimaniji@gmail.com